

他職種連携の好事例

NPO 法人わくわくの会 さぼーとせんたーi

小浜 ゆかり

●事例3（発達障害児童）

寄り添い支援の相談員から、「学校で『暴言・暴れる・奇声をあげる等』の行為があり、学校も家族も困っている。相談員もどう支援したらいいのかわからないので相談したい。」との相談があり、寄り添い相談員と家族と一緒に来所にて面談を行う。子どもの特性を共有するため、『サポートノートえいぶる』のシートを一緒に作成し、子どもの特性と困り感を伝える。その後、学校と連携し、作成したシートを使って、学校のコーディネーター・担任の先生と、子どもの特性と困り感を共有し、支援の目標や手立てを統一した。その結果、家族と学校の関係性を再構築することができ、子どもも徐々に落ち着いている。

●事例4：

事例3のようなケースで、その後ティーチャーズトレーニングを学校で開催し、学校全体で取り組んだことで、教師が行動観察し、子どもへの対応がうまくできるようになり、気持ちの余裕が持てるようになって、子どもも落ち着いた。その後は、困ったことがあれば、先生から「こんな時はどうかかわったらいいか？」など、気軽に相談が寄せられるようになって、連携がスムーズになっている。